

# JAS 0524

## 日本農林規格 JAPANESE AGRICULTURAL STANDARD

---

ジャム類

**Jams**

1988年 4月 20日 制定  
2019年 10月 18日 改正

---

農林水産省

## 目 次

	ページ
1 適用範囲 .....	1
2 引用規格 .....	1
3 用語及び定義 .....	1
4 品質 .....	2
5 試験方法 .....	3

## まえがき

この規格は、日本農林規格等に関する法律に基づき、日本農林規格調査会の審議を経て、農林水産大臣が改正した日本農林規格である。これによって、ジャム類の日本農林規格（平成30年12月7日付け農林水産省告示第2659号）は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。農林水産大臣及び日本農林規格調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。



## ジャム類

### Jams

#### 1 適用範囲

この規格は、ジャム及びマーマレードの品質について規定する。

#### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**CODEX STAN 192** 食品添加物に関する一般規格

#### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

##### 3.1

###### 果実等

果実、野菜又は花卉。

##### 3.2

###### ジャム類

次のいずれかのもの。

a) **果実等 (3.1)** を砂糖類、糖アルコール又は蜂蜜とともにゼリー化するようになるまで加熱したもの。

b) a)に酒類、かんきつ類の果汁、ゲル化剤、酸味料、香料等を加えたもの。

##### 3.3

###### マーマレード

ジャム類 (3.2) のうち、かんきつ類の果実を原料としたもので、かんきつ類の果皮が認められるもの。

##### 3.4

###### ゼリー

ジャム類 (3.2) のうち、**果実等 (3.1)** の搾汁を原料としたもの。

##### 3.5

###### ジャム

ジャム類 (3.2) のうち、**マーマレード (3.3)** 及び**ゼリー (3.4)** 以外のもの。

##### 3.6

###### プレザーブスタイル

ジャム (3.5) のうち、ベリー類（いちごを除く。）の果実を原料とするものにあつては全形の果実、いちごの果実を原料とするものにあつては全形又は2つ割りの果実、ベリー類以外の**果実等 (3.1)** を原料とするもの

にあつては 5 mm 以上の厚さの果肉等の片を原料とし、その原形を保持するようにしたもの。

### 3.7

#### 果実等含有率

原料として使用した**果実等 (3.1)** [マーマレード (3.3)] において、使用した果皮の果実全体に対する割合が通常の果実が有する果皮の割合を超える場合にあっては、その超える部分に相当する果皮を除く。] 及びその搾汁の重量の製品の重量に対する割合。

## 4 品質

ジャム及びマーマレードの品質は、表 1 の等級ごとの品質基準に適合していなければならない。

表 1—ジャム及びマーマレードの等級ごとの品質基準

区分	基準	
	特級	標準
内容物の品位	<p>内容物の品位は、次による。</p> <p><b>a)</b> 香味及び色沢が優良であること。</p> <p><b>b)</b> ゼリー化の程度が適当で、病虫害痕及びへたその他のきょう雑物がないものであること。</p> <p><b>c)</b> プレザーブスタイルにあつては、果実、果肉等の形及び量が適当で、果実、果肉等の大きさがそろっていること。</p> <p><b>d)</b> マーマレードにあつては、果皮の分布が均一であること。</p>	<p>内容物の品位は、次による。</p> <p><b>a)</b> 香味及び色沢が良好であること。</p> <p><b>b)</b> ゼリー化の程度がおおむね適当で、病虫害痕及びへたその他のきょう雑物がほとんどないものであること。</p> <p><b>c)</b> プレザーブスタイルにあつては、果実、果肉等の形及び量がおおむね適当で、果実、果肉等の大きさがおおむねそろっていること。</p> <p><b>d)</b> マーマレードにあつては、果皮の分布がおおむね均一であること。</p>
可溶性固形分	<p>箇条 5 によって試験したとき、40 % 以上。</p>	
果実等含有率	<p>果実等含有率は、次による。</p> <p><b>a)</b> ジャムにあつては、45 % 以上。</p> <p><b>b)</b> マーマレードにあつては、30 % 以上。</p>	<p>果実等含有率は、次による。</p> <p><b>a)</b> ジャムにあつては、33 % 以上。</p> <p><b>b)</b> マーマレードにあつては、20 % 以上。</p>
原材料	<p>次のもののみを使用することができる。</p> <p><b>a)</b> 果実等</p> <p><b>b)</b> 砂糖類</p> <p><b>c)</b> 糖アルコール</p> <p><b>d)</b> 蜂蜜</p> <p><b>e)</b> 酒類</p> <p><b>f)</b> かんきつ類の果汁（含有率が 4 % 以下である場合に限る。）</p>	

表 1—ジャム及びマーマレードの等級ごとの品質基準（続き）

区分	基準	
	特級	標準
添加物	<p>添加物は、次による。</p> <p>a) <b>CODEX STAN 192 3.2</b>の規定に適合するものであって、かつ、その使用条件は同規格<b>3.3</b>の規定に適合していること。</p> <p>b) 使用量が正確に記録され、かつ、その記録が保管されているものであること。</p> <p>c) a)の規定に適合している旨の情報が、一般消費者に次のいずれかの方法により伝達されるものであること。ただし、業務用の製品に使用する場合にあっては、この限りでない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) インターネットを利用し公衆の閲覧に供する方法。</li> <li>2) 冊子、リーフレットその他の一般消費者の目につきやすいものに表示する方法。</li> <li>3) 店舗内の一般消費者の目につきやすい場所に表示する方法。</li> <li>4) 製品に問合せ窓口を明記の上、一般消費者からの求めに応じて当該一般消費者に伝達する方法。</li> </ol>	
内容量	表示重量に適合していること。	
容器又は包装の状態	<p>容器又は包装の状態は、次による。</p> <p>a) 瓶詰及び缶詰のものにあっては、密封が完全で、適当な真空度を保持しており、外観が良好であること。</p> <p>b) 缶詰のものにあっては、内面塗装缶を使用していること。</p> <p>c) 瓶詰及び缶詰以外のものにあっては、防湿性及び十分な強度を有する資材を用いて密封されていること。</p>	

## 5 試験方法

可溶性固形分は、20 °Cにおける糖用屈折計の示度を読み取り、その値をパーセントで表したものとする。



#### 制定等の履歴

全部改正 昭和 63 年 4 月 20 日農林水産省告示第 524 号  
改 正 昭和 63 年 12 月 9 日農林水産省告示第 1973 号  
改 正 平成 2 年 9 月 29 日農林水産省告示第 1225 号  
改 正 平成 6 年 3 月 1 日農林水産省告示第 435 号  
改 正 平成 6 年 12 月 7 日農林水産省告示第 1636 号  
改 正 平成 6 年 12 月 26 日農林水産省告示第 1741 号  
改 正 平成 8 年 4 月 4 日農林水産省告示第 421 号  
改 正 平成 8 年 4 月 4 日農林水産省告示第 424 号  
改 正 平成 9 年 2 月 17 日農林水産省告示第 248 号  
改 正 平成 10 年 7 月 22 日農林水産省告示第 1074 号  
改 正 平成 11 年 6 月 21 日農林水産省告示第 840 号  
改 正 平成 16 年 3 月 15 日農林水産省告示第 583 号  
改 正 平成 20 年 7 月 17 日農林水産省告示第 1128 号  
改 正 平成 25 年 12 月 24 日農林水産省告示第 3111 号  
改 正 平成 27 年 5 月 28 日農林水産省告示第 1387 号  
改 正 平成 30 年 3 月 29 日農林水産省告示第 683 号  
確 認 平成 30 年 12 月 7 日農林水産省告示第 2659 号  
最終改正 令和元年 10 月 18 日農林水産省告示第 1200 号

#### 制定文、改正文、附則等（抄）

○ 令和元年 10 月 18 日農林水産省告示第 1200 号  
令和元年 10 月 18 日から施行する。